

飯 豊 だ よ り

役員による臨時『抜き打ち』安全パトロールを実施

飯豊山系砂防事務所では、管内で発注している工事の労働災害等を未然に防止することを目的として、工事安全対策協議会役員による臨時『抜き打ち』安全パトロールを実施しています。

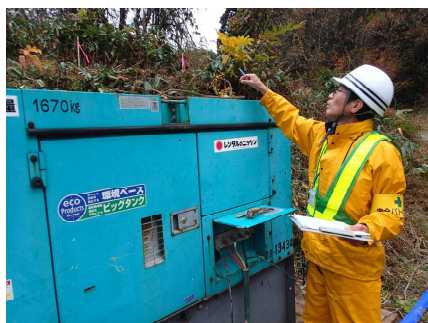
平成 28 年 11 月 16 日（水曜日）に「第 1 回臨時安全パトロール」を管内で稼働中の全工事（4 工事）を対象に『抜き打ち』で実施しました。

当日は、受注者側から副会長の山形建設㈱取締役本部長、幹事の新発田建設㈱取締役土木部長、小国開発㈱管理室長の 3 名、発注者側から副会長（事務所副所長）を含む 5 名の計 8 名の役員が参加しました。

◆現地安全点検

安全パトロールでは、参加者全員で施工中の工事の危険ポイントを確認するとともに、出された意見を各現場にお知らせし、以下を実施します。

各 現 場 点 検 状 況



深沢第 1 号砂防堰堤
（発電機の上にもものが載っている）



戸沢川砂防堰堤
（ロープの緩み）



中ノ俣川砂防堰堤
（表示の点検）

◆現地点検の結果出された意見

安全パトロール終了後、参加者から出された主な意見は以下のとおりです。

- ・工事の進捗で避難通路が不明確になっている。現場内・通路等の整理が必要。
- ・本堤までの単管足場の幅木が無い。通路に段差がある。
- ・安全のためのロープや路肩トラロープの垂れ下がりがあった。
- ・ワイヤーロープの点検色が当月の点検色と合っていない。
- ・発電機の上にワイヤー等が置いてあり、振動による落下の危険がある。
- ・敷鉄板上が泥や落ち葉で滑りやすくなっている。
- ・重機の施錠が無いものや、車止めを掛けていない車両があった。
- ・ガスボンベが不安定な場所に置いてあった

◆今回のパトロールの結果を踏まえて

今回実施したパトロールにより、毎月実施しているパトロールでは確認されていなかった工事進捗中に生じる危険についても確認することができました。

各現場においては、これらの出された意見を踏まえ、日々の現場内整理や今後の降積雪により危険性の高まる転倒事故や交通事故等も含め、対策を再確認・再検討を実施します。